

標十五句

松岡隆子選

絵の中の反り身の女更衣
髪切つて皐月の眉を明るうす
打水の届かぬままに苔青し
森薄暑坐るところが見つからぬ
母の日の机の角を合はせけり
いきいきと雨に打たる薔薇の色
カーネーション自分に買つて静かな夜
麦秋や少し甘くて夜の紅茶
荒城へ磴の苔踏み霞ふみ
一夜さの雨に濡れたる落し文
長良川には長良川の匂ひ掛り鮎
春雷や何かを想ひ出しさうな
柚の花の匂ふひとりに戻るとき
峡の日を集めて白し山桜
余花仰ぐ昭和を生きし顔ばかり

佐藤郭子
小山陽子
鈴木綾
川上昌子
平沢千恵子
相馬晃一
濱地恵理子
渡辺あつ子
広渡詩乃
室井千鶴子
梶浦道成
菊池京子
小村絹代
町田洋子
醍醐喜美枝